

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

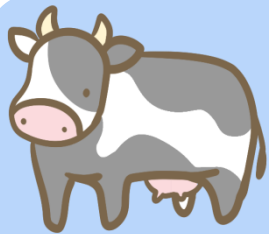
TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



## 寒冷対策をして冬に備えましょう！！

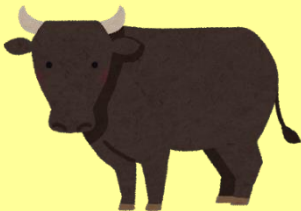
だんだん肌寒い季節になってきました。人と同じく動物も、季節の移り変わりは体調を崩しやすくなりますが、冬期に備えた家畜の寒冷対策はお済みでしょうか？

今回は、畜種ごとに冬期管理のコツをまとめてみましたので、まだ寒冷対策がお済みでない農家さんは、ぜひ参考にしてください。



乳牛

牛は寒さに強いと言われていますが、哺乳子牛では対策が必要です。重要なのは、子牛の体に風が直接当たらないようにすることと、体を濡らさないようにすることです。そのためには、牛舎の破損を見つけたらすみやかに修復したり、乾燥した牛床を用意することが大切です。また、子牛用の防寒ジャケットやネックウォーマーの装着もあります。



肉牛

肥育牛で重要なのは、呼吸器病対策です。防寒対策として牛舎を完全に締め切ってしまうと、有害ガスが発生し、呼吸器疾病を引き起こしてしまうことがあります。天気の良い日には牛舎の換気を行いましょう。

また、冬季は体温維持にエネルギーが奪われてしまうので、飼料の増給を検討したり、飲水量の低下による尿石症防止のため、水を温めるという工夫も必要です。



豚

子牛同様、子豚も寒さに弱い生き物です。冬が来る前に再度、ブルーダー、保温マット、保温ヒーターが壊れていないか点検し、清掃しておきましょう。また、分娩は必ず立ち合い、分娩直後の子豚の寒冷感作を防止しましょう。その他、カーテンの内側にビニールシートを貼り付けて暖熱効果を高めるなどの工夫も効果的です。



鶏

冬期は呼吸器病の発生しやすい時期でもあることからワクチン接種などの予防を徹底するとともに、夜間における呼吸器音の観察による疾病の早期発見と換気に努めましょう。

また、採卵鶏では、産卵率低下の防止に良質な飼料を十分に与えることが大切です。

天気予報などを上手に活用して、鶏舎内の温度管理をしましょう。

# 今月から高病原性鳥インフルエンザ特別防疫対策期間です！！

熊本県では11月1日～4月30日を「高病原性鳥インフルエンザ特別防疫対策期間」と定め、ウイルスの侵入防止および万一の発生時のまん延防止対策を強化しています。

千葉県ではすでに野鳥の糞便から低病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されており、今後も渡り鳥によってウイルスが伝播される可能性が高いと考えられます。

家畜飼養者や関係者の皆様におかれましては、長靴の消毒や鶏舎のネットの補修など、飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします。

また、死んだ野鳥を発見された場合には、阿蘇地域振興局 林務課(22-1117)までご連絡をお願いします。

## 中国からの旅客の携帯品からASFウイルス遺伝子検出！！

10月1日に北京から到着した旅客から収去した豚肉ソーセージ(1.5kg。一定の加熱がされている模様。)について、18日に動物検疫所において、アフリカ豚コレラ(ASF)の遺伝子検査を実施したところ、ASFウイルスの遺伝子が確認されました。

本年8月3日に、初めて中国においてASFが確認されて以降、動物検疫を強化するとともに、注意喚起を行っています。生産者の皆様におかれましては、農場への侵入防止のため、生肉を含む又は含む可能性がある飼料を給与する場合は、適切な加熱処理(摂氏70度以上で30分間以上又は摂氏80度以上で3分間以上)を行うなど、飼養衛生管理基準の遵守をよろしくお願い致します。

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性鳥インフルエンザ	H5N6	中国(1件)	家禽	平成30年9月24日
口蹄疫	O型	中国(1件)	牛	平成30年10月12日
アフリカ豚コレラ		中国(15件)	豚	平成30年9月28日～10月30日

平成30年11月1日時点



## 毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。  
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

